

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 スクラム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		入社等の際、会社理念等の書面を配布し、社内でも共有している。								8	9													17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		3ヶ月ごとにコンプライアンス研修を開催し、法令順守について社員へ周知している。																						16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不当な競争行為の禁止を就業規則に明文化している。										10												16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自社の事業活動が社会・環境に及ぼすメリット・デメリットを把握している。当該取組みの進捗を明確にするため組織体制(担当者・責任者)を整備し、定期的に協議を行っている。																						16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		取引先やステークホルダーの知的財産について、職員間で情報共有を常時行っている。								8.2 8.3	9														
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の漏洩がないよう、取扱責任者がデータ・書面の双方の管理を徹底している。また、新規職員の入社の際にも、誓約書等への記入・提出を義務付けている。																						16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切な対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先お客様の声を重視し、弊社が外部に及ぼす影響を把握し、より良い関係構築に取り組んでいる。																					16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9													17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2			5			8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		定期研修時、各種ハラスメントについても主要課題の一つとして意見交換を実施している。また、研修終了後には個別相談にも対応できるよう環境を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		弊社事故対応マニュアルに沿って未然に事故を防ぐ取り組みを行っている。また事故を未然に防ぐ対策のひとつとして、平時より業務関係者と密に連絡を取り合うようしている。			3					8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		女性が活躍している弊社では、従業員に対し公平な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		事業活動における積極的な男女共同参画の推進に努め、仕事と家庭生活が両立できる就業環境の整備に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部機関による研修に積極的に参加するとともに、個々の能力に応じた資格取得にも力をいれている。				4	5.5			8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		法定健診への補助及び新型コロナウイルス検査キットの提供等、職員の健康面には特に注意を払っている。			3					8														17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		産育休後の職員が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。また、外国人労働者及び障がい者等の職員に対し、一般職員と比べてときに差別的待遇がないよう日頃より取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3											16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		基本、会議の在り方をWEB方式に変更。また、対面の場合は換気に注意を払っている。			3					8	9.1		11	12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		現在、毎月の勤務状況を確認するため各社員には書面で勤務表(月報)を提出いただき、その後、本部でPCへ入力という手順を進めているが、R5.10月末を目途にPC端末を現場へ配布し、社員各々が現場でPC入力ができるシステムを構築することで、業務の効率化を図る。									8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12										

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 スクラム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		外部企業と提携し、廃棄物の運搬・処分から発生する環境負荷・生活環境保安上の支障を未然に防止に努めている。(リサイクル処理・堆肥化等)			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力や水道などの光熱費について毎月の数値を把握し、削減についての目標値を定めている。主な取組みとして社内の照明の多くにLEDを採用、及び昼休憩時間内限定での消灯に努めている。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		県HP掲載の簡易計算シートを活用し、現社用車のCO2排出量を把握している。なお社用車(1両)をR5.11月末までに、「環境にやさしい車」(ハイブリッド車もしくはEV車)に代替する予定あり。また、職員に対し積極的な公共交通機関の利用を促している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		弊社は熊本市事業所グリーン宣言の登録事業所として、社をあげて自然環境への負荷の軽減に取り組んでいる。また、使用物品についても環境に配慮した製品の購入を行っている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		給食で発生する食品廃棄物の発生量を正確に把握し、栄養教諭等と情報を共有することで食品ロスの削減や食品廃棄物の再生利用率の向上に繋げている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		調理の際やトイレ使用の際の節水を職員へ周知するとともに、事業所内に節水機器の設置を積極的に行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙の利用を促進している。 裏紙の再利用を積極的に行っている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		残食及び廃棄品を把握することで、使用する食材の見直しやメニュー構成に役立て、日々の食品ロス軽減に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			「環境にやさしい車」(ハイブリッド車もしくはEV車)をR5.10月末までに代替する予定あり。今後も積極的にEV車等の導入推進を図る。										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 スクラム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		給食業務開始時または定期的に関係職員を対象とした衛生管理研修会を開催するなど、職員の安全に対する意識の高揚を図っている。また危機管理対応マニュアルを作成・活用している。			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		隣接するグループ企業が福祉業を営んでいるため、日頃からユニバーサルに対する高い意識は持ち合わせている。また社屋そのものが健常者はもちろん、障がい者や高齢者にもやさしいデザイン設計となっている。										9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・産地消費を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	弊社は自社調理施設を有しているため、そこで使用する「野菜」「米」「小麦粉」は県産原材料を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎年、地域主催のゴミ収集活動やイベント活動に参加するなど、社会貢献活動へ積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		有事の際に備え日頃から避難行動訓練を実施するなど、災害対策への危機感を持ち合わせている。また、社内には防災備蓄や防災グッズを常備し災害対策を取っている。				4							11.5		13.1				16					
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2										17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15					17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。